

4. 勉強が得意な子の家庭に多いのでは無いかと思うことをたくさん挙げてみます。当て＊はまるのではないかと思うものを全て選択してください。（複数選択可）

- 朝食は基本抜かない
- 起床時間は休日も基本ブレない
- 就寝時間は基本ブレない
- 読書の習慣がある
- 勉強に取り組む時間帯は基本決まっている
- スマホは学習時触れないようになっている
- スマホは就寝時触れないようになっている
- 音楽やラジオなど音を聞きながら勉強はしていない
- テレビやユーチューブなど映像を見ながら勉強はしていない
- 「勉強をしなさい」と言うことはほぼ無い
- 子どものテスト成績や通知表の内容は把握している
- 家族（両親）の仲が良い
- 家族間（親子間）での会話が多いと思う
- 家事の手伝いを子どももする

5. お子さんの就寝時間は具体的に何時頃ですか。＊

- 21時以前
- 21時頃
- 22時頃
- 23時頃
- 24時頃
- 25時頃
- 25時以降

6. スマホ（タブレット）を持たせていたご家庭は、スマホに関する具体的な使用ルールがありましたら教えてください。（時間制限など）

7. お子さんの家庭学習の場所はどこですか。 \*

- 勉強部屋（自室）
- リビング
- その他

8. ここまで子供の生活習慣部分についてお聞きしてきましたが、生活習慣部分で特別気を付けていたこととかありましたらお書きください。

睡眠不足にならないように決まった時間には寝させたことです。

9. 勉強に対しての親子のスタンスはどれが当てはまりそうですか。（ご兄弟複数いる場合はお1人を想定してお願ひします） \*

- 子べたべた（サポートしてほしい） 保護者べたべた（サポートしたい）
- 子さばさば（自分でやりたい） 保護者さばさば（自分でやってほしい）
- 子さばさば（自分でやりたい） 保護者べたべた（サポートしたい）
- 子べたべた（サポートしてほしい） 保護者さばさば（自分でやってほしい）

10. 中学生になって戸惑ったお子さんの変化はありますか？あればお教えください。

特にありませんでした。

1 1. 子供のために保護者一人で取り組んでいた取り組みについて、当てはまるものを全て選んでお答えください。 (どれも当てはまらなければ一番下の選択肢を)

- テストの理解度の把握
- 通知表の評定の把握
- 生活習慣の把握
- 高校（入試）情報収集
- メンタル面の把握
- 学習への取り組みの把握
- どれも当てはまらない

1 2. 今伺った「保護者一人で取り組んでいた取り組み」は親子関係関わらず実行可能で再現性があり、とても重要だと思っております。具体的な取り組みやアドバイスがあればお願いします。

■通知表の評定の把握・・・各教科の評定を把握し、何が足りないのかを分析しました。B評定がついているところなら、具体的にどのようにすれば成績UPに繋がるのかをネットで調べ、フォローしました。

■高校入試の情報収集・・・大学進学実績などを調べたり、口コミサイトで生の情報を調べたりしました。

■学習への取り組みの把握・・・受験期は、勉強時間や内容が書き込めるスタディプランナー等で、勉強時間や内容を書き込み、励ましたり足りないところをアドバイスしたりしました。

13. 子どもと一緒に行った学習の取り組みについて、実行していたものについて教えてください。当てはまるものすべてお選びください。（どれも当てはまらなければ一番下の選択肢を）

- 一緒に学習計画を立てる
- 一緒にインプット（覚える勉強）をする
- 一緒にアウトプット（演習）をする
- 演習のマル付けをしてあげる
- 一緒に提出物の進捗を確認する
- 一緒にテスト答案を見て反省をする
- どれも当てはまらない（子供と一緒にやることはない）

14. 子どもと一緒に学習の取り組みを実行していた方にお聞きします。中学生になるとその難易度は上がるようを感じますが、なぜ実行が可能だったのでしょうか？親の強権でしょうか？良好な関係性でしょうか？

可能であれば実行のコツや具体的な内容などと併せてお聞かせください。

子供が素直だったことに尽きるような気がします。

15. これまでの中学生の子どもへの勉強関連の関わりの中で、「これは大成功だった。  
＊  
知り合い皆さんも実行して欲しい」と思う取り組みがあればお教えください。

定番中の定番かもしれません、ワークを最低3周は回す（もちろんやり方も大事です）、誰よりも早くフライングスタートして勉強する。

副教科の評定が重要視される県では、副教科の取り組みも親のフォローがあると心強いと思います。

16. これまでの中学生の子どもへの勉強関連の関わりの中で、「これは失敗だった。こ  
うすべきだった」という次に機会があれば改善したいと思う取り組みがあればお教えください。  
＊

中学の進度は高校とはくらべものにならないくらい遅く、カリキュラムもスカスカなので、自前の定期テストだけにこだわりすぎず、もっと先取（特に英数）して勉強しておくべきだった。はやければ小学生の頃から。

17. これまでの中学生の子どもへの勉強関連の関りの中で、「これは言うべきでは無かった」という失言があればお教えください。

いい結果を取り出すと「もっともっと」という気持ちになり、高得点でも褒めなくなる。  
「あと何点で100点だったのに～」とか、子供の努力を否定するような言葉です。

18. ご兄弟がいるご家庭にお聞きします。「子どもの性格に合わせて兄弟で対応を変えた」という勉強関連の関りがあればお教えください。

娘（中2）は一切の関与を拒否しているので、声がかかれれば教える、必要なものをそろえる等のフォローが中心です。そのため、娘からのリクエストがあれば熱の冷めないうちに問題集や文具、聞かれたことへの答を素早く用意しています。

19. ご兄弟がいるご家庭にお聞きします。「兄弟で性格の違いあれど、ここは変わらず家庭のルールとして譲れない！」と統一していた勉強関連の家庭のルールがあればお教えください。最も大切だと感じるもの最大3つまでお願ひします。

やればできることをやらない選択肢は我が家にはない。  
質を追求する前にまずは圧倒的な量をこなすこと。  
の2点です。

中学校の定期テストというある程度範囲の決まった勉強、どんな方法であれ頑張ればそれなりの結果がついてくるはず。それをやらないで過ごすという選択肢だけは我が家にはないということです。  
そして、2点目は賢い子は圧倒的量をこなしていることが多い、効率の前にまずは量（時間）をこなすことで見えてくるものがあるということです。

20. 中学1年生の1年間で「この時期が中1学習サポートの正念場だった！」という時期があれば理由と共にお書きください。（無ければ結構です）

なんといっても一番最初の中間テストです。いい結果を取って、いい気分でスタートすることが大事と思ったからです。結果、ここでの順位が大きく変動することはありませんでした。

21. 中学2年生の1年間で「この時期が中2学習サポートの正念場だった！」という時期があれば理由と共にお書きください。（無ければ結構です）

特にありませんでした

22. 中学3年生の1年間で「この時期が中3学習サポートの正念場だった！」という時期があれば理由と共にお書きください。（無ければ結構です）

11月以降です。夏の努力、面談でいわれたことなどが本人の原動力となって気合のはいってくる時期でした。親としてもその頑張りが1点でも結果に繋がるようにとサポートに必死でした。

23. 塾や通信教材を利用していたかをお教えください。 \*

- 塾も通信教材も利用していない
- 通信教材を利用していた
- 塾を利用していた
- 塾も通信教材も利用していた

24. 塾を利用していた方は、塾を選ぶときに重要視したものをお選びください（複数選択可）

- 立地
- 口コミ（保護者）
- 口コミ（生徒）
- 口コミ（ＷＥＢ）
- 通っている生徒
- 指導形態
- 知名度
- 進学実績
- 費用
- 塾長
- ホームページ
- SNS

25. 日常の勉強のために学校教材以外に利用していた教材について教えてください。 \*

- 市販教材を買って利用していた
- 塾教材を利用していた
- 通信教材を利用していた
- 学校教材以外は利用していない

26. 市販教材・通信教材を利用していたという方にお聞きします。使ってよかったですという教材あれば教材名をお教えください。

- 中1～中3・・・文理の完全攻略
  - 塾技
  - 中3・・・分野別過去問（理社）全国高校入試問題正解（英国）
- 

27. 学習関連の家庭ルールはどのように決まっていますか？

- 保護者同士で話し合って
- 本人と保護者で話し合って
- 保護者1人で決めて
- 子ども本人が決めて

28. 学習面に関して家族会議は開かれたでしょうか？

- 定期的に開かれた
- 必要に応じて開かれた
- 話し合いはしたが仰々しく会議として開くことは無かった
- 開かれなかった

29. 子どもの勉強に向けたやる気を高めるために行った取り組みがあればお教えください。

子供が勉強している間は、親もテレビを観たりなどの娯楽はしない。

質問にはすぐに答える。

モチベーションアップにつながるので文具はお気に入りを買ってあげる。

(予備も必須)

子供の人格を否定したり、ヒステリックにならない、人と比べない。

30. 子どもの志望高校を意識させるために行った取り組みがあればお教えください。

田舎は賢くてもそうでなくとも本当に高校の選択肢がないことを、塾の資料とともに伝えた。

31. ここまで答えていただいた中で、「まだこの件について話せていない！」なんてことがもしもあれば、自由にお書きください。

二人三脚で頑張りだすと、子供の結果が自分の手柄みたいに思えて、錯覚を起こすときがあります。もっともっと、もっと上に！と追い詰めてしまったりしないように。いつも親は冷静であることと、子供の頑張りはあくまでも子供のものであることを心に留めておくことを伝えたいです。

親が高学歴の場合はわからないのですが、我が家の場合、私は短大卒、夫は実業系の高卒で、勉強の仕方がわかりませんでした。そのため、数多の教育ブログを読み漁っていいものをかたっぱしから取り入れましたが、個人のブログの読みすぎにも要注意です。

32. 取り組みに苦戦をして「他のご家庭はどうしているのだろう？どうするのがいいのだろう？」と知りたかった学習に関わる取り組みがあればお教えください。

先取のような、今現在はすぐにする必要のない勉強を、（重要だが緊急ではないカテゴリ）どのようにやる気にさせるか。

33. 最後に、これから中学生の学習サポートに取り組み始める後輩保護者達にエールを送っていただけないでしょうか。宜しくお願ひします！

親子で頑張れる時間は長いようでアツという間です。いつくしむ気持ちで楽しんでほしいです。

アンケートは以上です。

つたないアンケート設問で失礼しました。ご協力本当にありがとうございました。今後の連絡はLINE（メール）でさせていただきます。私（國立）に何か伝えておくべきことあればこちらにお願いします。

重ね重ねになりますが、ご協力本当にありがとうございました！

先生のブログはいつもとても楽しみにしています。執筆活動などお忙しいかと思いますが、お体ご自愛下さい。よい本ができる事を心から祈っています。

このコンテンツはGoogleが作成または承認したものではありません。

Google フォーム